



平成 25 年 5 月 30 日

各 位

会 社 名 日本コンベヤ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西尾佳純  
(コード番号 6375 東証・大証第1部)  
問合せ先 取締役管理本部長 石田稔夫  
(TEL:072-872-2151)

(訂正)「平成 21 年3月期 第1四半期決算短信」の一部訂正について

当社は、平成 25 年 5 月 28 日付適時開示「椿本興業株式会社との取引に係る決算訂正について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 20 年8月8日付「平成 21 年3月期 第1四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には\_\_を付して表示しております。なお、数値データについては、訂正はありません。

以 上

(訂正前)



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 日本コンベヤ株式会社 上場取引所 東大  
 コード番号 6375 URL <http://www.conveyor.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西尾 佳純  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)石田 稔夫 TEL 072—872—2151  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年 3月期第1四半期	2,823	—	35	—	139	—	114	—
20年 3月期第1四半期	2,101	—	29	—	35	—	24	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年 3月期第1四半期	1	77	—	—
20年 3月期第1四半期	0	38	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年 3月期第1四半期	14,814		7,104		47.6		109	19
20年 3月期	14,440		6,856		47.2		105	53

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,057百万円 20年3月期 6,821百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年 3月期	0 00	0 00	0 00	0 00	0 00
21年 3月期	0 00	—	—	—	—
21年 3月期(予想)	—	0 00	0 00	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	7,000	—	100	—	100	—	80	—	1	24
通期	14,000	△4.2	250	0.0	250	74.8	200	88.7	3	09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無  
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- |                      |             |             |             |             |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  |             |             |             |             |
|                      | 21年3月期第1四半期 | 64,741,955株 | 20年3月期      | 64,741,955株 |
| ② 期末自己株式数            |             |             |             |             |
|                      | 21年3月期第1四半期 | 102,459株    | 20年3月期      | 101,571株    |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） |             |             |             |             |
|                      | 21年3月期第1四半期 | 64,639,575株 | 20年3月期第1四半期 | 64,649,893株 |

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1株当たりの配当金については未定であるため記載しておりません。
- 上記の予想は本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向を前提としております。今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、鋼材など原材料価格の高騰に加え、サブプライムローン問題や改正建築基準法などの影響もあり、不動産業、建設業などの企業収益の悪化から民間設備投資にかげりが見えるなど、不安材料が多く見られております。当社グループをとりまく環境は、コンベヤ、立体駐車装置事業ともに需要はありましたが、コスト上昇の中で価格競争の厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループは積極的に営業活動を展開しました結果、コンベヤ事業では製鉄・資源関連の案件や部品を受注しました。立駐事業では得意のエレベータ式や平面往復式の立駐本体販売およびそのメンテナンス事業も順調に推移しました。売上高は海外の大型案件の納入などで28億23百万円（前年同期比34.3%増）となりました。損益面につきましては、原材料価格の上昇がありましたが、受注採算の改善、設計・製作・調達・工事でのコスト低減、経費の圧縮など徹底した合理化を推進しました結果、営業利益は35百万円（前年同期比21.2%増）となりました。経常利益は為替差益の計上により、1億39百万円（前年同期比290.0%増）、第1四半期純利益は1億14百万円（前年同期比366.5%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末と比較して主に受取手形及び売掛金が5億87百万円減少しましたが仕掛品が5億84百万円、投資有価証券が2億27百万円増加したことにより3億73百万円増加の148億14百万円となりました。負債につきましても、前期末と比較して主に短期借入金が増加しましたが支払手形及び買掛金が1億84百万円、前受金が2億28百万円減少したことにより1億25百万円増加の77億9百万円となりました。純資産は、前期末と比較して主に当期純利益を1億14百万円計上したこと及びその他有価証券評価差額金が1億22百万円増加したことにより、2億47百万円増加の71億4百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

原材料価格の高騰や景気減速など当社グループをとりまく経営環境は厳しい状況ではありますが、それらの要因による業績の変動は現時点では想定されないことから、平成20年5月16日発表の当期の業績予想に変更はありません。1株当たりの期末の配当金につきましても、上記の理由により現時点においては未定であります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用につきましては、費用の算出に当たって加味する加減算項目及び税額控除項目を、重要なものに限定して計算しております。また、重要性の乏しい連結子会社については、当第1四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実質税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,110,480	3,048,228
受取手形及び売掛金	3,895,154	4,482,691
有価証券	294,903	255,191
販売用不動産	—	2,300
原材料	413,727	367,775
仕掛品	3,620,956	3,036,682
貯蔵品	41,714	34,218
その他	120,724	129,201
貸倒引当金	△29,115	△31,829
流動資産合計	11,468,547	11,324,461
固定資産		
有形固定資産	995,606	979,194
無形固定資産		
のれん	454,847	469,520
その他	13,183	12,583
無形固定資産合計	468,030	482,103
投資その他の資産		
投資有価証券	1,593,636	1,366,246
その他	492,195	492,733
貸倒引当金	△203,937	△204,452
投資その他の資産合計	1,881,894	1,654,526
固定資産合計	3,345,531	3,115,824
資産合計	14,814,079	14,440,286
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,201,038	3,385,286
短期借入金	1,330,000	730,000
未払法人税等	39,319	28,681
前受金	1,679,645	1,907,990
賞与引当金	44,992	122,201
その他	482,654	565,870
流動負債合計	6,777,649	6,740,031
固定負債		
長期借入金	—	7,500
退職給付引当金	445,958	425,300
その他	486,237	411,098
固定負債合計	932,196	843,898
負債合計	7,709,845	7,583,930

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,851,032	3,851,032
資本剰余金	1,241,034	1,241,034
利益剰余金	1,394,739	1,280,141
自己株式	△10,889	△10,814
株主資本合計	<u>6,475,916</u>	<u>6,361,393</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	519,075	396,984
土地再評価差額金	62,915	62,915
評価・換算差額等合計	<u>581,990</u>	<u>459,899</u>
少数株主持分	<u>46,326</u>	<u>35,062</u>
純資産合計	<u>7,104,234</u>	<u>6,856,355</u>
負債純資産合計	<u>14,814,079</u>	<u>14,440,286</u>

## (2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,823,487
売上原価	2,460,984
売上総利益	362,503
販売費及び一般管理費	327,282
営業利益	35,220
営業外収益	
受取利息	1,559
受取配当金	15,442
有価証券売却益	2,880
為替差益	91,515
その他	7,291
営業外収益合計	118,689
営業外費用	
支払利息	7,149
支払手数料	5,096
有価証券売却損	885
その他	824
営業外費用合計	13,956
経常利益	139,954
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,228
投資有価証券評価益	22,380
特別利益合計	25,608
特別損失	
たな卸資産評価損	7,082
特別損失合計	7,082
税金等調整前四半期純利益	158,480
法人税、住民税及び事業税	32,777
法人税等調整額	△159
法人税等合計	32,618
少数株主利益	11,264
四半期純利益	114,597

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	コンベヤ事業 (千円)	立体駐車装置 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	<u>1,421,298</u>	1,402,189	<u>2,823,487</u>	—	<u>2,823,487</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	115,479	—	115,479	(115,479)	—
計	<u>1,536,777</u>	1,402,189	<u>2,938,967</u>	(115,479)	<u>2,823,487</u>
営業利益	<u>20,020</u>	<u>98,736</u>	<u>118,756</u>	(83,535)	<u>35,220</u>

(注) 1 事業区分の方法は、商品の種類等により区分しております。

2 各事業区分の主要製品

(1) コンベヤ事業……ベルトコンベヤ及び附帯機器

(2) 立体駐車装置事業……機械式立体駐車装置及び附帯機器

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目は、配賦不能営業費用の金額で、当社の総務部、経理部、社長室等管理部門の費用であります。

## 【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	東南アジア	中近東	計
I 海外売上高(千円)	607,924	408,902	1,016,827
II 連結売上高(千円)	—	—	<u>2,823,487</u>
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	<u>21.5</u>	<u>14.5</u>	<u>36.0</u>

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア……台湾

(2) 中近東……バーレーン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし



## 「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,101,973
II 売上原価	1,746,619
売上総利益	355,354
III 販売費及び一般管理費	326,295
営業利益	29,058
IV 営業外収益	27,327
V 営業外費用	20,496
経常利益	35,889
VI 特別利益	2,908
VII 特別損失	3,102
税金等調整前四半期純利益	35,695
法人税、住民税及び事業税	10,737
法人税等調整額	△ 109
少数株主利益	502
四半期純利益	24,565

(訂正後)



平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 日本コンベヤ株式会社 上場取引所 東大  
 コード番号 6375 URL <http://www.conveyor.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)西尾 佳純  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)石田 稔夫 TEL 072—872—2151  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年 3月期第1四半期	2,599	26.0	39	65.0	150	372.0	124	515.1
20年 3月期第1四半期	2,062	—	24	—	31	—	20	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年 3月期第1四半期	1	93	—	—
20年 3月期第1四半期	0	31	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
21年 3月期第1四半期	14,530		7,099		48.5		109	11
20年 3月期	14,057		6,840		48.4		105	29

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 7,052百万円 20年3月期 6,805百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年 3月期	円 銭 0 00	円 銭 0 00	円 銭 0 00	円 銭 0 00	円 銭 0 00
21年 3月期	0 00	—	—	—	—
21年 3月期(予想)	—	0 00	0 00	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	7,000	28.4	100	582.2	100	160.5	80	177.5	1	24
通期	14,000	△1.3	250	8.3	250	84.4	200	103.5	3	09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

無

新規 一社（社名 ） 除外 一社（社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

21年3月期第1四半期	64,741,955株	20年3月期	64,741,955株
-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期	102,459株	20年3月期	101,571株
-------------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）

21年3月期第1四半期	64,639,575株	20年3月期第1四半期	64,649,893株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 1株当たりの配当金については未定であるため記載しておりません。

2. 上記の予想は本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向を前提としております。今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、鋼材など原材料価格の高騰に加え、サブプライムローン問題や改正建築基準法などの影響もあり、不動産業、建設業などの企業収益の悪化から民間設備投資にかげりが見えるなど、不安材料が多く見られております。当社グループをとりまく環境は、コンベヤ、立体駐車装置事業ともに需要はありましたが、コスト上昇の中で価格競争の厳しい状況が続きました。

このような環境下、当社グループは積極的に営業活動を展開しました結果、コンベヤ事業では製鉄・資源関連の案件や部品を受注しました。立駐事業では得意のエレベータ式や平面往復式の立駐本体販売およびそのメンテナンス事業も順調に推移しました。売上高は海外の大型案件の納入などで25億99百万円（前年同期間比26.0%増）となりました。損益面につきましては、原材料価格の上昇がありましたが、受注採算の改善、設計・製作・調達・工事でのコスト低減、経費の圧縮など徹底した合理化を推進しました結果、営業利益は39百万円（前年同期間比65.0%増）となりました。経常利益は為替差益の計上により、1億50百万円（前年同期間比372.0%増）、第1四半期純利益は1億24百万円（前年同期間比515.1%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末と比較して主に受取手形及び売掛金が5億47百万円減少しましたが仕掛品が6億78百万円、投資有価証券が2億27百万円増加したことにより4億73百万円増加の145億30百万円となりました。負債につきましても、前期末と比較して主に短期借入金が6億円増加しましたが支払手形及び買掛金が96百万円、前受金が1億47百万円減少したことにより2億15百万円増加の74億31百万円となりました。純資産は、前期末と比較して主に当期純利益を1億24百万円計上したこと及びその他有価証券評価差額金が1億22百万円増加したことにより、2億58百万円増加の70億99百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

原材料価格の高騰や景気減速など当社グループをとりまく経営環境は厳しい状況ではありますが、それらの要因による業績の変動は現時点では想定されないことから、平成20年5月16日発表の当期の業績予想に変更はありません。1株当たりの期末の配当金につきましても、上記の理由により現時点においては未定であります。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用につきましては、費用の算出に当たって加味する加減算項目及び税額控除項目を、重要なものに限定して計算しております。また、重要性の乏しい連結子会社については、当第1四半期を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実質税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 追加情報

(不正取引及び不適切な会計処理について)

当社において、不正取引の疑いが生じたことから、社内調査委員会を設置し調査を進めて参りました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不正取引及び不適切な会計処理が行われておりました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出いたしました。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,110,480	3,048,228
受取手形及び売掛金	3,733,822	4,281,249
有価証券	294,903	255,191
販売用不動産	—	2,300
原材料	413,727	367,775
仕掛品	3,338,327	2,659,412
貯蔵品	41,040	34,218
その他	297,317	340,435
貸倒引当金	△29,115	△31,829
流動資産合計	11,200,504	10,956,983
固定資産		
有形固定資産	995,606	979,194
無形固定資産		
のれん	454,847	469,520
その他	13,183	12,583
無形固定資産合計	468,030	482,103
投資その他の資産		
投資有価証券	1,593,636	1,366,246
その他	489,208	489,746
貸倒引当金	△216,037	△216,552
投資その他の資産合計	1,866,807	1,639,439
固定資産合計	3,330,444	3,100,737
資産合計	14,530,949	14,057,721
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,000,824	3,097,040
短期借入金	1,330,000	730,000
未払法人税等	39,319	28,681
前受金	1,461,402	1,608,635
賞与引当金	44,992	122,201
その他	623,196	786,389
流動負債合計	6,499,735	6,372,949
固定負債		
長期借入金	—	7,500
退職給付引当金	445,958	425,300
その他	486,237	411,098
固定負債合計	932,196	843,898
負債合計	7,431,931	7,216,847

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,851,032	3,851,032
資本剰余金	1,241,034	1,241,034
利益剰余金	<u>1,389,522</u>	<u>1,264,659</u>
自己株式	<u>△10,889</u>	<u>△10,814</u>
株主資本合計	<u>6,470,700</u>	<u>6,345,910</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	519,075	396,984
土地再評価差額金	<u>62,915</u>	<u>62,915</u>
評価・換算差額等合計	<u>581,990</u>	<u>459,899</u>
少数株主持分	<u>46,326</u>	<u>35,062</u>
純資産合計	<u>7,099,017</u>	<u>6,840,873</u>
負債純資産合計	<u>14,530,949</u>	<u>14,057,721</u>

## (2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,599,987
売上原価	2,233,018
売上総利益	366,969
販売費及び一般管理費	327,282
営業利益	39,686
営業外収益	
受取利息	1,559
受取配当金	15,442
有価証券売却益	2,880
為替差益	91,515
受取事務手数料	5,800
その他	7,291
営業外収益合計	124,489
営業外費用	
支払利息	7,149
支払手数料	5,096
有価証券売却損	885
その他	824
営業外費用合計	13,956
経常利益	150,220
特別利益	
貸倒引当金戻入額	3,228
投資有価証券評価益	22,380
特別利益合計	25,608
特別損失	
たな卸資産評価損	7,082
特別損失合計	7,082
税金等調整前四半期純利益	168,746
法人税、住民税及び事業税	32,618
法人税等調整額	—
法人税等合計	32,618
少数株主利益	11,264
四半期純利益	124,863

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	コンベヤ事業 (千円)	立体駐車装置 事業(千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	<u>1,197,798</u>	1,402,189	<u>2,599,987</u>	—	<u>2,599,987</u>
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	115,479	—	115,479	(115,479)	—
計	<u>1,313,277</u>	1,402,189	<u>2,715,467</u>	(115,479)	<u>2,599,987</u>
営業利益	<u>21,673</u>	<u>101,549</u>	<u>123,222</u>	(83,535)	<u>39,686</u>

(注) 1 事業区分の方法は、商品の種類等により区分しております。

2 各事業区分の主要製品

(1) コンベヤ事業……ベルトコンベヤ及び附帯機器

(2) 立体駐車装置事業……機械式立体駐車装置及び附帯機器

3 営業費用のうち、消去又は全社の項目は、配賦不能営業費用の金額で、当社の総務部、経理部、社長室等管理部門の費用であります。

## 【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

在外子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

## 【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	東南アジア	中近東	計
I 海外売上高(千円)	607,924	408,902	1,016,827
II 連結売上高(千円)	—	—	<u>2,599,987</u>
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	<u>23.4</u>	<u>15.7</u>	<u>39.1</u>

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア……台湾

(2) 中近東……バーレーン

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし



## 「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,062,823
II 売上原価	1,712,479
売上総利益	350,344
III 販売費及び一般管理費	326,295
営業利益	24,048
IV 営業外収益	28,277
V 営業外費用	20,496
経常利益	31,829
VI 特別利益	2,908
VII 特別損失	3,102
税金等調整前四半期純利益	31,635
法人税、住民税及び事業税	10,737
法人税等調整額	97
少数株主利益	502
四半期純利益	20,298